

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名	アウラ				公表日	R8年4月1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	利用人数に合わせて配置を変えている	利用児童の障がい特性や医療的ケアの状況により必要となるスペースが変化するため、今後も利用人数や子どもの状態に応じて活動スペースの確保を柔軟に見直ししていく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	利用人数や子どもの状態に合わせて十分なスタッフが配置されている	現在は適切な職員配置を行っているが、医療的ケア児や重症心身障がい児の受け入れ状況により必要な支援量が変化するため、今後も専門職の配置や研修を充実させ、より安全で質の高い支援体制を維持していく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	子どもの状態に合わせて、過ごしやすい場所を固定し、安心できるようにしている。	子どもの成長や利用児童の障がい特性の変化に応じて、より分かりやすく安全に過ごせる環境づくりを継続的に検討し、必要に応じて設備や環境設定の見直しを行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・午睡が必要な子どもには落ち着いた場所を提供し、安心して過ごせるようにしている。 ・毎日の清掃がきちんとされている。 ・日当たりも良く、換気も適宜行われている。	清潔で安心して過ごせる環境を維持するため、感染症対策や衛生管理を継続するとともに、子ども一人ひとりが落ち着いて活動できる空間づくりを引き続き工夫していく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・子どもが落ち着いて過ごせるようスペースが配慮されている。 ・食事や午睡する場所の配置がある ・利用者に合わせて配置を変更している	子どもの特性や体調に応じて落ち着いて過ごせる場所を確保しているが、利用児童の状況に応じてより安心して過ごせる環境づくりを引き続き検討していく
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	いつでも個々の子どもの記録に目を通せるようになっておりケアに反映できる	より多くの職員が主体的に意見交換や振り返りに参加できるよう、ミーティングや情報共有の機会をさらに充実させていく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		保護者からの意見や要望を支援や運営に反映できるよう、引き続きアンケートや日々の連絡を通じて意見を把握し、業務改善につなげていく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0		より働きやすい環境づくりや支援の質の向上につながる体制づくりを継続していく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1		外部の意見や評価も参考にしながら、支援の質の向上につながる取り組みや情報収集を継続し、より良い事業所運営につなげていく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0		職員の専門性向上のため、外部研修や事業所内研修の機会を継続的に設け、支援の質の向上に努めていく
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	介入するスタッフが個人ファイルで確認できる	支援プログラムを職員間で共有しているが、今後も定期的な内容を見直し、利用児童の状況や支援内容に応じて更新していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	ファイルがあり、日々確認できるようになっている	アセスメントや計画作成は適切に実施しているが、今後も子どもの成長や状態変化に応じて内容の見直しを行い、より個々のニーズに沿った支援計画の充実を図っていく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0		職員間で共通理解を図りながら支援計画を作成しているが、引き続き情報共有や連携を強化し、より一貫性のある支援につなげていく
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0		支援計画に基づいた支援は適切に実施されているが、今後も職員間での共有を徹底し、より一貫性のある支援の提供に努めていく
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		アセスメントは実施しているが、より客観的で統一された評価が行えるよう、ツールの活用や記録方法の標準化を進め、支援の質向上につなげていく
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	多職種と連携している	ガイドラインに基づいた支援を行っているが、今後も多職種との連携を強化し、より専門的で質の高い支援の提供に努めていく
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0		活動プログラムはチームで検討しているが、子どもの成長やニーズに応じて内容の見直しを行い、より効果的な支援につなげていく
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・週ごとや季節に合わせてプログラムを考えている ・季節に合わせて内容を取り入れ、楽しく過ごせるようにしている	子どもの特性に応じた工夫を行って居るが、引き続き一人ひとりに合わせた活動内容の充実を図り、より主体的に参加できる支援を目指していく

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	それぞれのこどものタイムスケジュールに合わせて取り組めるようにしている	個別活動と集団活動を適切に組み合わせているが、今後もこどもの状況や発達段階に応じて柔軟に内容を見直し、より効果的な支援につなげていく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0		支援前の打ち合わせを実施し役割分担を行っているが、より円滑な支援につなげるため、情報共有の質や向上や確認体制の強化を図る
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・おもちゃで遊んだ後に、壊れていないかなども確認し安全に遊べるようにしている ・気づいたことについては些細なことも共有している	支援後の振り返りを実施しているが、気づきや課題をとり具体的に共有し、次の支援に確実に反映できるよう取り組みを継続していく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		日々の記録は適切に行っているが、記録内容をより効果的に活用し、支援の検証や改善につなげていく体制をさらに強化していく
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		定期的なモニタリングを実施しているが、子どもの変化に応じたタイムリーな見直しを行い、より適切な支援の提供につなげていく
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	児童発達支援管理責任者は出席	関係機関との連携は行っているが、今後も情報共有を密にし、より多職種と連携した支援体制の強化に努めていく
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		地域との関係機関との連携体制は構築しているが、今後も情報共有を密にし、よりスムーズで切れ目のない支援につなげていく
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		保育所や他事業所等との連携を行っているが、今後も情報共有の機会を増やし、支援内容の共通理解を深めることで、より円滑な移行やインクルージョンの推進につなげていく
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		就学先との情報共有は行っているが、引き続き学校との連携を強化し、子どもが安心して新しい環境へ移行できるよう支援体制の充実を図っていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1		児童発達支援センターとの連携は行っているが、より専門的な助言や支援の質向上につなげるため、スーパーバイズや研修の機会を積極的に活用していく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	3		地域との交流機会が十分とは言えないため、今後は保育所や幼稚園等との連携や交流の機会を検討し、子ども同士の関わりや社規制の育成につなげていく
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・写真や動画を送り、活動の様子を知ってもらうようにしている ・送迎時にご家族から聞いたこと等すぐに共有できる	日々の譲歩共有は行っているが、今後もより分かりやすく丁寧な伝達を心がけ、保護者との共通理解をさらに深めていく
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2		家族支援の機会は設けているが、より多くの家庭が参加しやすい形での情報提供や支援プログラムの充実を図り、保護者支援の強化につなげていく	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		丁寧な説明を行っているが、今後も保護者もにとって分かりやすい説明を心がけ、理解を深めてもらえるよう努めていく
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	子ども一人ひとりの成長のための支援計画が立てられていると思う。	子どもや保護者の意向を尊重した支援を行っているが、引き続き一人ひとりの最善の利益を考慮し、より質の高い支援につなげていく
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	保護者の希望にとても寄り添っていると思う	支援内容について丁寧に説明を行っているが、今後も保護者にとってわかりやすい説明を心がけ、十分な理解と同意を得られるよう努めていく
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・日頃から職員間で保護者の様子を共有し、助言・支援につながっている ・適宜行っている	保護者からの相談には適切に対応しているが、今後も迅速かつ丁寧な対応を心がけ、より安心して相談できる体制づくりを継続していく

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	3		保護者同士の交流機会が十分とは言えないため、今後は保護者会や交流の場の設定を検討し、保護者同士が情報交換できる機会の充実を図っていく
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		相談・苦情への対応体制は整備されているが、今後も周知の徹底と迅速な対応を心がけ、安心して相談できる環境づくりを継続していく
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	SNSにて活動スケジュールや子どもの様子を発信している	SNSを活用した情報発信を行っているが、今後も発信内容の充実を図り、保護者にとって分かりやすく有益な情報提供に努めていく
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		個人情報の適切な管理を行っているが、今後も職員への周知と管理体制の強化を図り、より一層の情報管理の徹底に努めていく
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		こどもや保護者への配慮を行っているが、今後もそれぞれの特性に応じた伝達方法を工夫し、より円滑な意思疎通につなげていく
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5		地域との関わりが十分とは言えないため、今後は地域住民との交流機会や行事への参加等を検討し、地域に開かれた事業所運営を推進していく
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		BCPを策定し訓練を実施しているが、今後も実践的な訓練や見直しを行い、非常時に備えた体制の強化に努めていく
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		子どもの健康状態の確認を行っているが、今後も情報共有を徹底し、安全な支援の提供に努めていく
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0		医師の指示に基づいた対応を行っているが、今後も職員間での情報共有を徹底し、より安全な対応に努めていく
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		安全管理体制を整備しているが、今後も研修や訓練を通じて職員の意識向上を図り、安全な支援の継続に努めていく
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		安全計画に基づく取組みについて周知を行っているが、今後も保護者への説明や情報共有を継続し、より安心して利用できる体制づくりに努めていく
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		ヒヤリハットの共有と再発防止策の検討を行っているが、今後も職員間での情報共有を徹底し、事故防止に向けた取り組みを継続していく
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	定期的な研修あり	虐待防止に関する研修を実施しているが、今後も定期的な研修や振り返りを通じて職員の意識向上を図り、適切な支援の提供に努めていく	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0		身体拘束等の適正化について適切に対応しているが、今後も必要性の検討や説明・同位の徹底を図り、子どもの権利擁護に配慮した支援を継続していく	